



春

- 五月  
 ●中旬 カキタテ・除草  
 ●下旬 畑焼・施肥・囲い垣作り



からむし焼

からむしの発芽を促し、害虫駆除、畑のカリ(K)分の補給などのため、5月21日の小満の日を目安に行われます。

- 六月  
 ●中旬 雑草刈払い  
 ●下旬 害虫防除

夏

- 七月  
 ●中旬 害虫防除  
 ●下旬 雑草刈払い・刈り取り・皮はぎ・苧引き・乾燥



刈り取り

からむしを畑から1本1本手で刈り出して、葉をこき落とし、規定の長さに切りそろえられます。



浸水

刈り取ったからむしをできるだけ早く水に浸し、乾燥を防いで、皮をはぎやすくします。

# からむし織の一年



皮はぎ

水に浸した後、皮が2枚になるように1本ずつ丁寧に剥ぎ再び水に浸します。



苧引き

苧引き具を使って一枚ずつ表皮と繊維に引き分ける作業です。最も熟練を必要とする作業で、暑い盛りに風の当たらない場所で行われます。